令和８年度　札幌市立常盤中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：36006

実態

「学ぶ力」

これまでの　成果	課　題
◇札幌市の共通指標より「疑問や課題を解決するために自分で方法を考えるようにしている」「やると決めたことやり遂げるようにしている」生徒が多いと言える。 ◇学校評価アンケートより、先生方の指導や対応に熱心さを感じ、毎日の授業を真剣に受けようとしている生徒が非常に多い。道徳や総合的な学習の時間で学んだことを生かそうとする意欲も高まってきている。	◇札幌市の共通指標から「自分で計画を立てて勉強している」生徒が約６割、「１日の時間の使い方を自分で考えて生活している」生徒や「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒は７割弱である。自分の学びや経験に自信をもつと共に、自己をコントロールする力、忍耐強さも育んでいきたい。 「学習計画の立て方」については大きな課題と捉えている。

「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く**相互承認の感度**〉　の現状と課題

◇札幌市の共通指標によると、相互承認に関わる項目について、「人のよいところを見付けようとしている」「人の役に立つと嬉しい」「人の役に立ちたい」と思う生徒は多い一方で、「自分が必要とされていると感じる」部分についてはやや低め（７割強）の傾向がある。今後も、自己肯定感の高まりを感じたり、自分に自信をもてたりするような場を創りだしていくことが重要である。

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

ゴールへの見通しをもって、主体的、協働的に取り組む力

取組

AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進

◇「自己肯定感を高めるための教育実践」の継続
・生徒がそれぞれのゴールを意識し、見通しと学ぶ意欲をもって取り組めるような学習の工夫

◇系統的な総合的な学習の時間の実施
・第Ⅲ期での課題探究型の学習を通して、生徒の工夫やチャレンジの場を保障

さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実

◇よりよい地域にするためのパートナー校との連携
・年６回の小中一貫した教育実務者会議
・夏・冬の合同研修会
・児童生徒間、職員間の積極的な交流や発表

◇生徒自身による協働的な活動
・学校祭
・総合的な学習の時間の課題探求やプレゼンテーション

〈本プログラムの実行に向けて〉

新年度
◇本プログラムの共有と学習
・校内研修会（４月）
・職員会議（５月）
・パートナー校間共有（５月）

〔一人一人の教職員〕
◇日常の授業・教育活動
◇各自の研修・年次研修等

〔学校全体〕
◇校内研修会（11 月）
◇パートナー校とこどもの育ちを共有

次年度へ
◇学校評価
◇年度末校内研修会（２月）